

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全課
担当課長名：増田 博行

事業名	地域高規格道路 <small>かなざわの と</small> 金沢能登連絡道路 主要地方道 <small>かなざわ たつはま</small> 金沢田鶴浜線	事業区分	地方道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県 <small>かなざわ</small> 金沢市 <small>あわがさき</small> 粟崎町4丁目 至：石川県 <small>かほく</small> 河北郡 <small>うちなだ</small> 内灘町 <small>おおねぶ</small> 大根布			延長	3.4 km
事業概要	「ダブルラダー結いの道」整備構想の南北幹線を構成する延長60kmの地域高規格道路である。本路線の整備により、県都金沢と能登地域の連携強化や重要港湾金沢港への物流支援および無料化後の大幅な交通量増加に対応するとともに周辺道路の慢性的な渋滞緩和に寄与する。				
H18年度事業化	都市計画決定なし	H18年度用地着手	H18年度工事着手		
全体事業費	58億円	事業進捗率	86%	供用済延長(暫定2車線)	3.4 km
計画交通量	21,600台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.6 (残事業) 19.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 12/68億円 事業費：4.1/60億円 維持管理費：8.4/8.4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 246/246億円 走行時間短縮便益：225/225億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：11/11億円	基準年 平成25年	
感度分析の結果	【事業全体】交通量：B/C=3.2~4.0(交通量 ±10%) 事業費：B/C=3.4~3.9(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=3.5~3.8(事業期間 ±10%)				
事業の効果等	・県都金沢と能登地域の連携強化（地域高規格道路整備区間指定 金沢市～河北郡内灘町 3km H18.3） ・重要港湾金沢港へのアクセス強化 ・金沢市街地に流入する交通の分散による周辺道路の渋滞緩和及び沿道環境の改善				
関係する地方公共団体等の意見	・金沢市などで構成される「地域高規格道路金沢能登連絡道路整備促進期成同盟会」から早期整備の要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見	・事業継続は適当と認める。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成19年1月コマツ金沢工場稼働 ・平成20年11月金沢港国際ターミナル供用 ・平成25年3月31日のと里山海道無料化				
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業進捗率86%、用地進捗率100%（平成24年度末時点）				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成26年度4車線開通予定				
施設の構造や工法の変更等	・近接する金沢港の浚渫土砂を盛土材に転用し、コスト縮減を図っている。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・事業の必要性・重要性は変わらないため事業を継続する。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。